

2030年のデジタル社会に求められるもの ～人口減少社会にどう対処するか

EABuSフォーラム2017
～「2030年 デジタル社会のグランドデザイン」～

2017年12月11日
津田塾大学総合政策学部 教授
森田朗

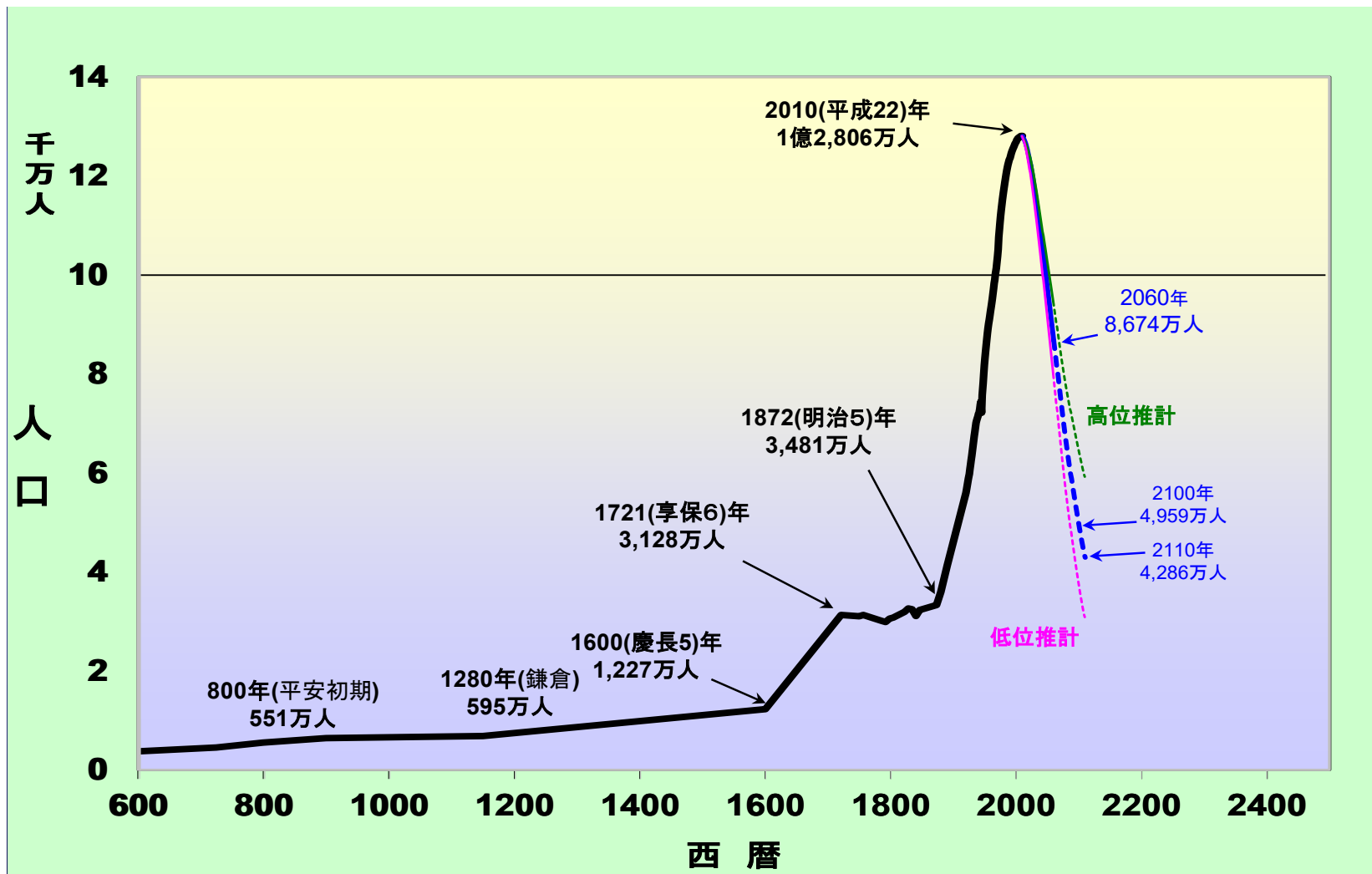


- ✓ 今後長期にわたって人口減少は避けがたい。
- ✓ 少子化によって、労働力人口、消費者人口も減少する。
- ✓ 高齢化によって、生産年齢人口に対する高齢者の比率が高まる。
- ✓ 今後必要とされるのは、社会の効率化。
- ✓ 人材資源の効率的利用＝生産性の向上
- ✓ 社会のデジタル化、ITの活用が必要

1. 歴史的転換期

——人口が初めて長期的に減少に向かう！

日本人口の歴史的推移

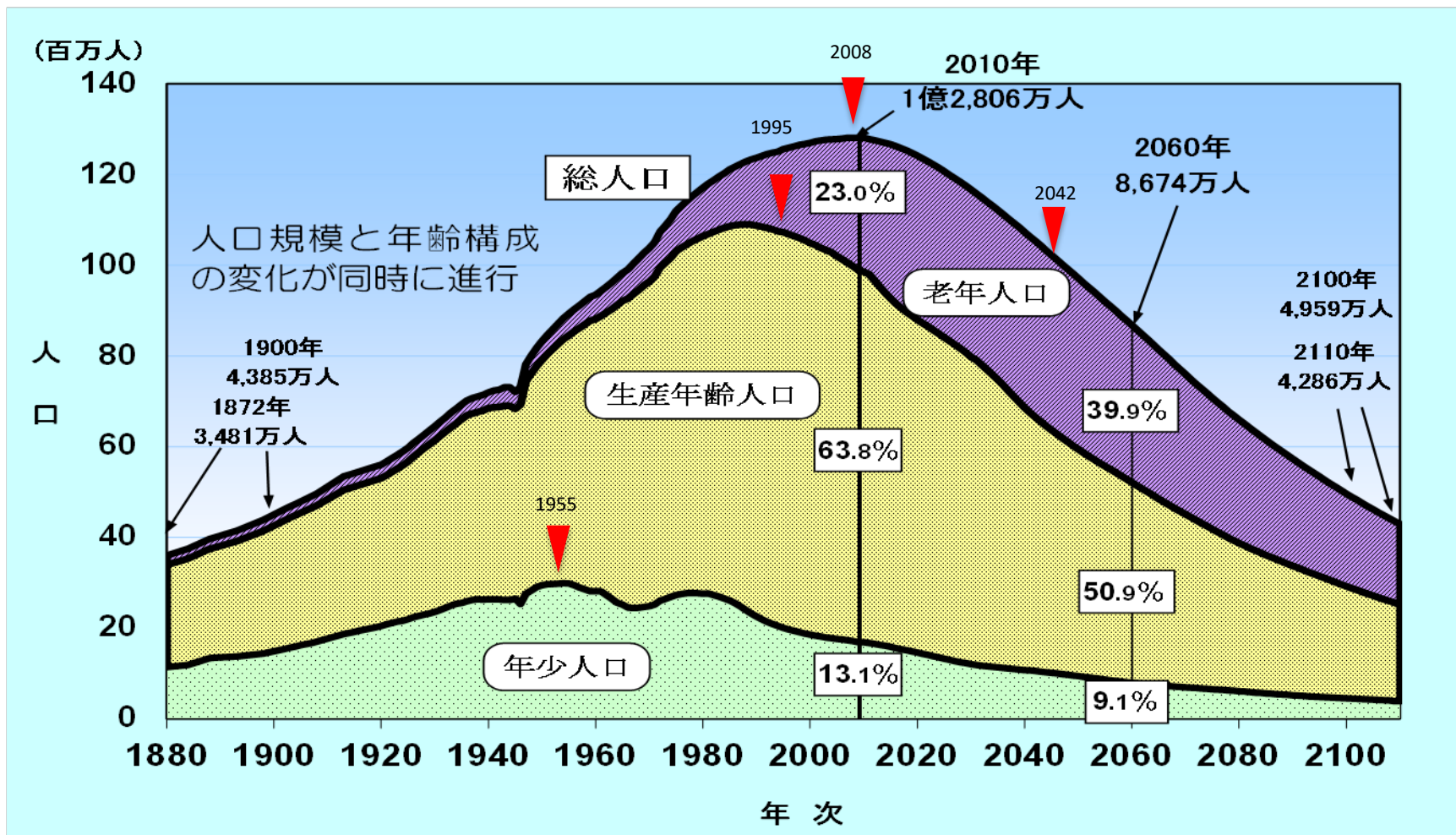


資料: 国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」(1846年までは鬼頭宏「人口から読む日本の歴史」、1847～1870年は森田優三「人口増加の分析」、1872～1919年は内閣統計局「明治五年以降我国の人口」、1920～2010年総務省統計局「国勢調査」「推計人口」) 2011～2110年国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計[死亡中位推計])。

2. 少子高齢化・人口減少の現実

— 60年前から始まっていた少子化

日本の人口推移(年齢3区分): 1880-2110 年



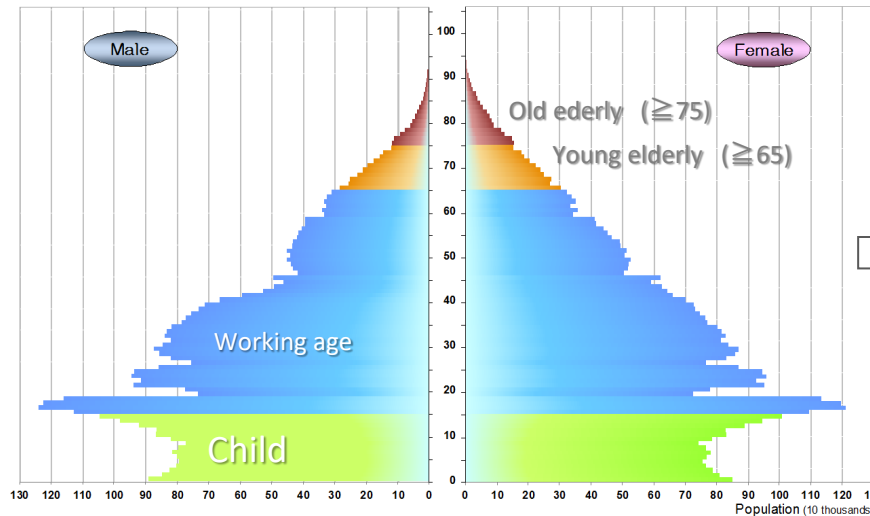
資料：旧内閣統計局推計、総務省統計局「国勢調査」「推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（平成24年1月推計[出生中位・死亡中位推計]）。



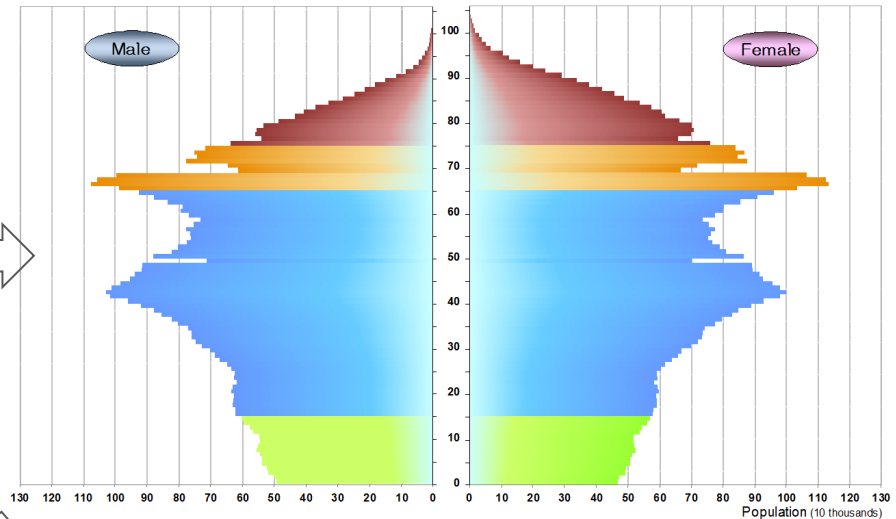
Population “Pyramids” of Japan

Depopulation and aging

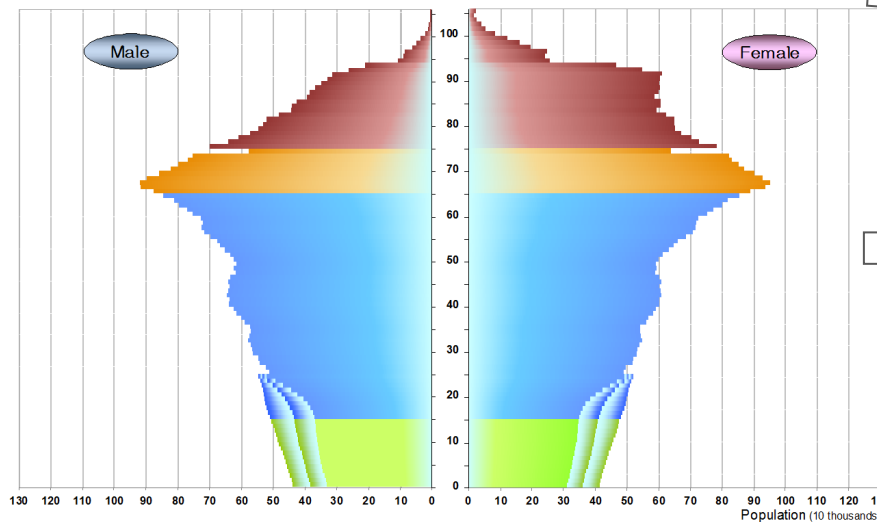
1965



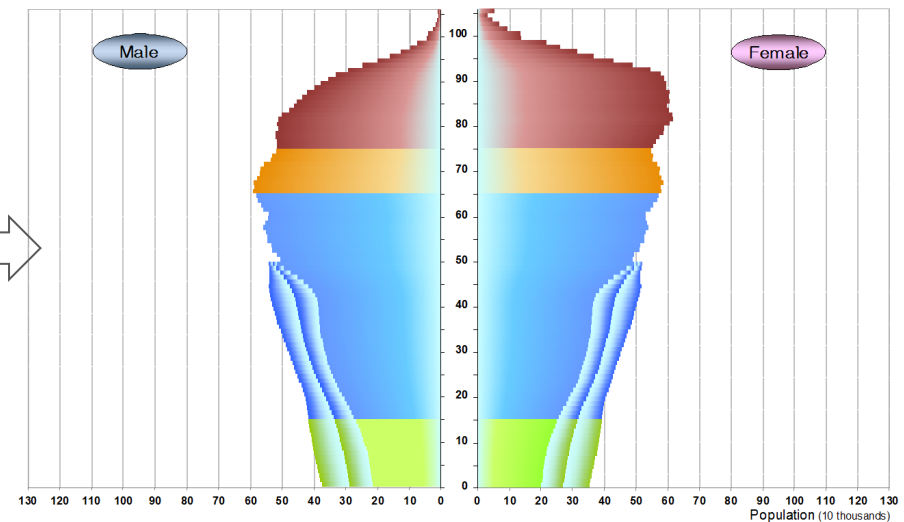
2015



2040



2065



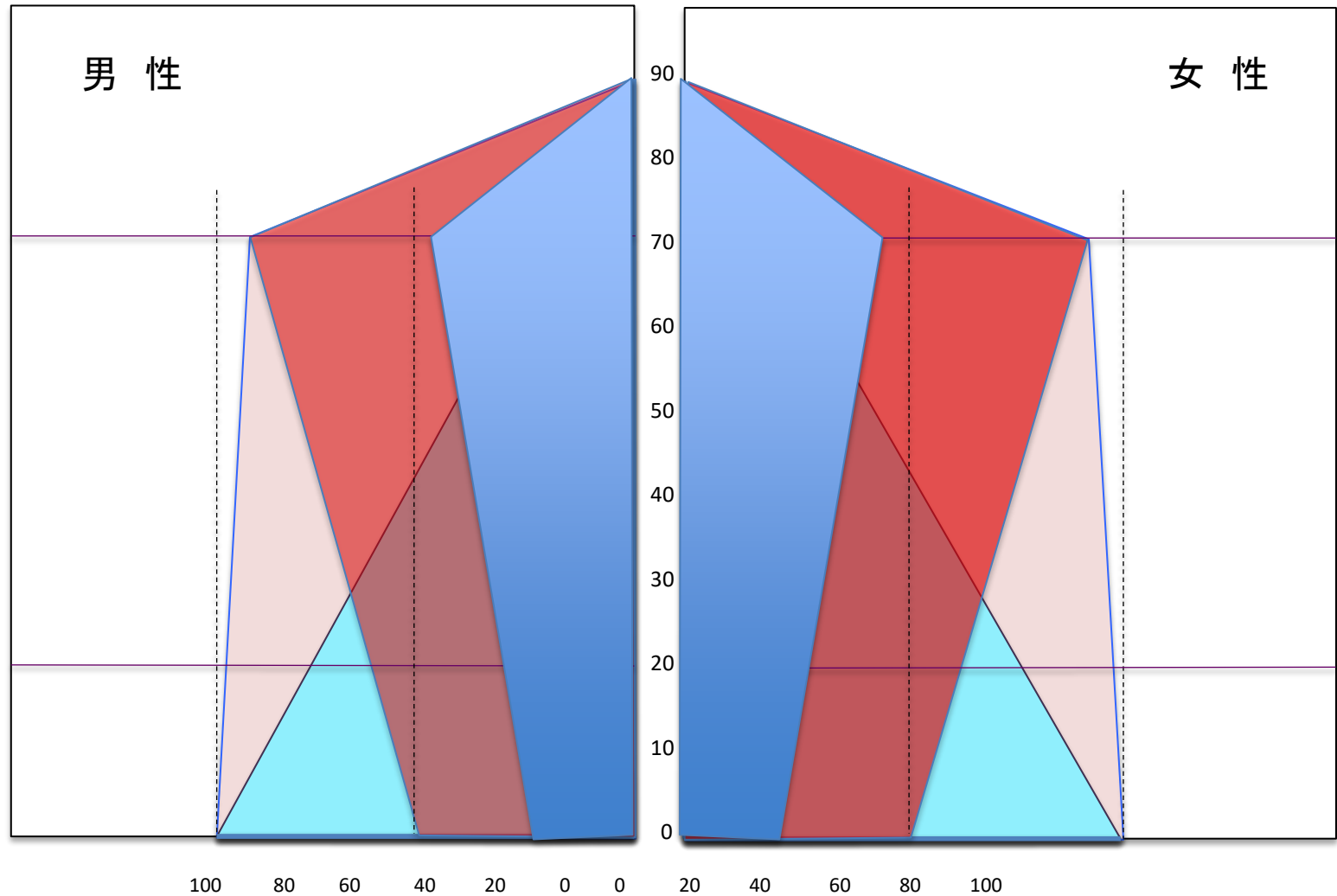
Source: Ministry of Internal Affairs and Communications, Statistics Bureau, “Population Census,” “Population Estimates”,
National Institute of Population and Social Security Research(2017), *Population Projection for Japan:2016-2065*.

3. 人口減少のメカニズム

- 見誤っていた長寿化の効果
- 長期にわたって持続する人口減少

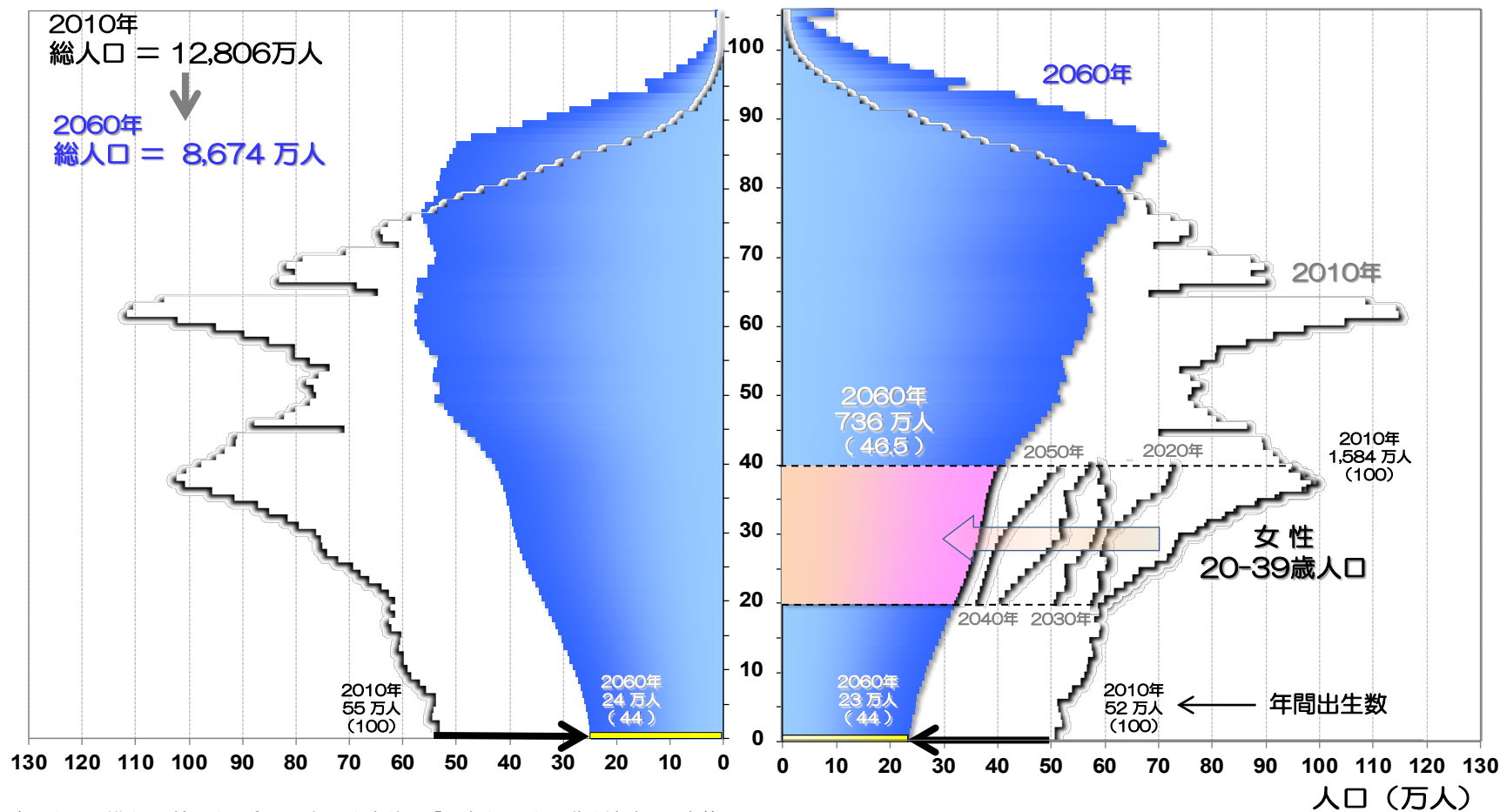
人口変化のメカニズム

ピラミッド ⇒ つり鐘型 ⇒ つぼ型



女性20～39歳人口の減少

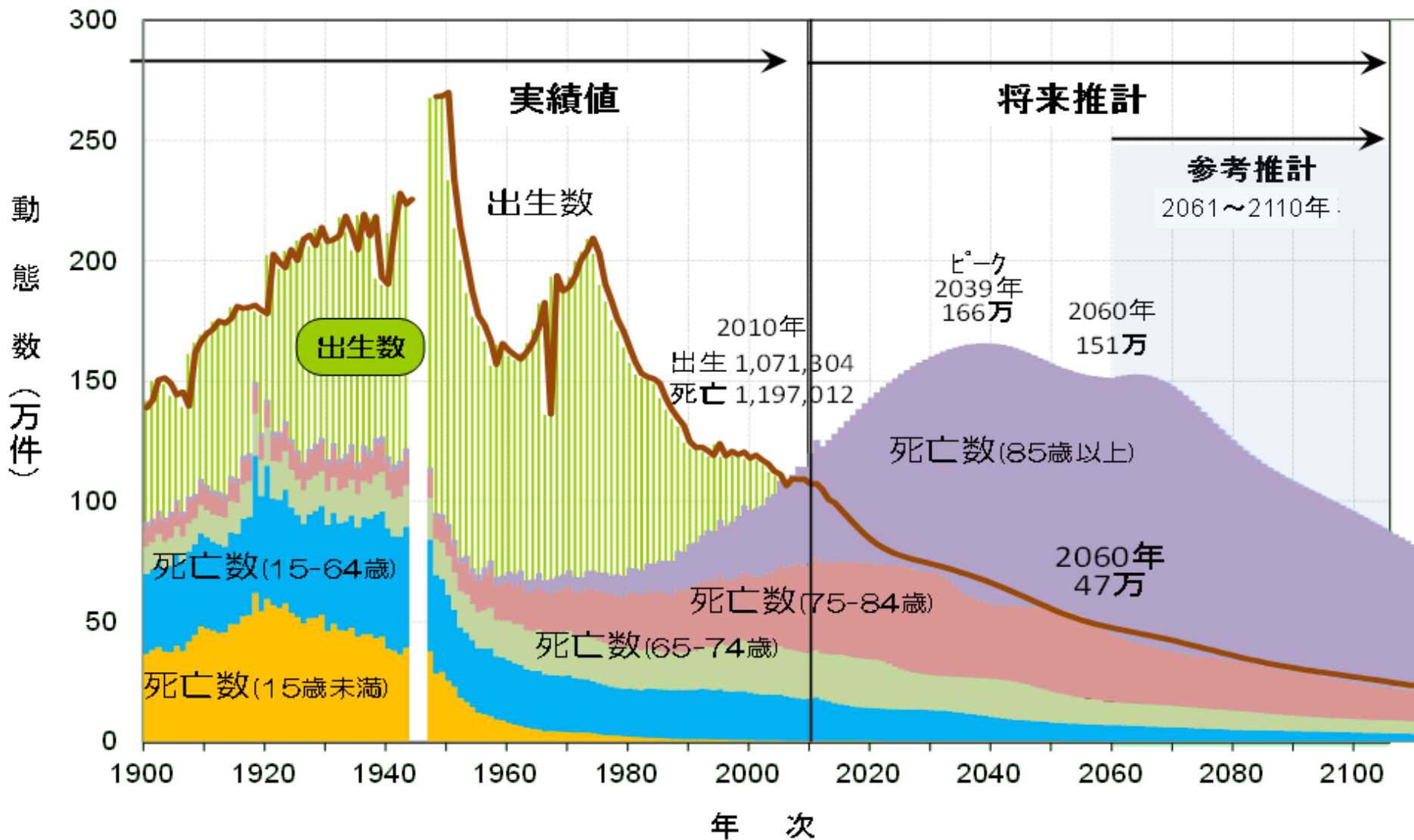
2010年 → 2060年



注：人口は総人口(外国人を含む)。年間出生数は「日本人」(人口動態統計と同定義)。

資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計[出生中位・死亡中位推計])。

出生数と死亡数の推移：1900-2110年



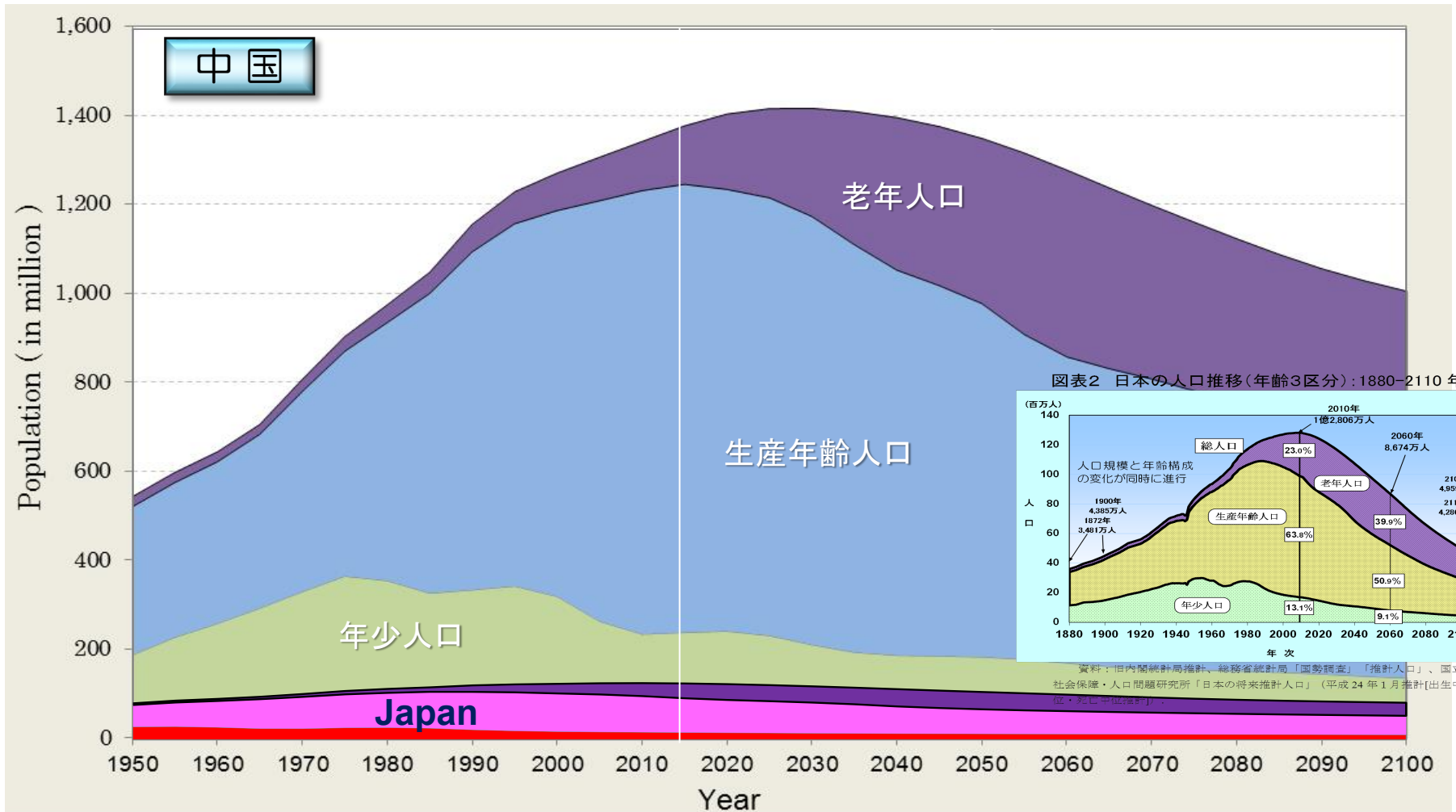
4. 世界のフロントランナーとしての日本

—— 少子高齢化は世界のトレンド

- ① 平均寿命と所得
- ② 合計特殊出生率と所得
- ③ 合計特殊出生率と平均寿命
- ④ 合計特殊出生率と乳幼児死亡率

[gapminder](https://gapminder.org/)

中国の年齢層別人口の推移: 1950-2100年

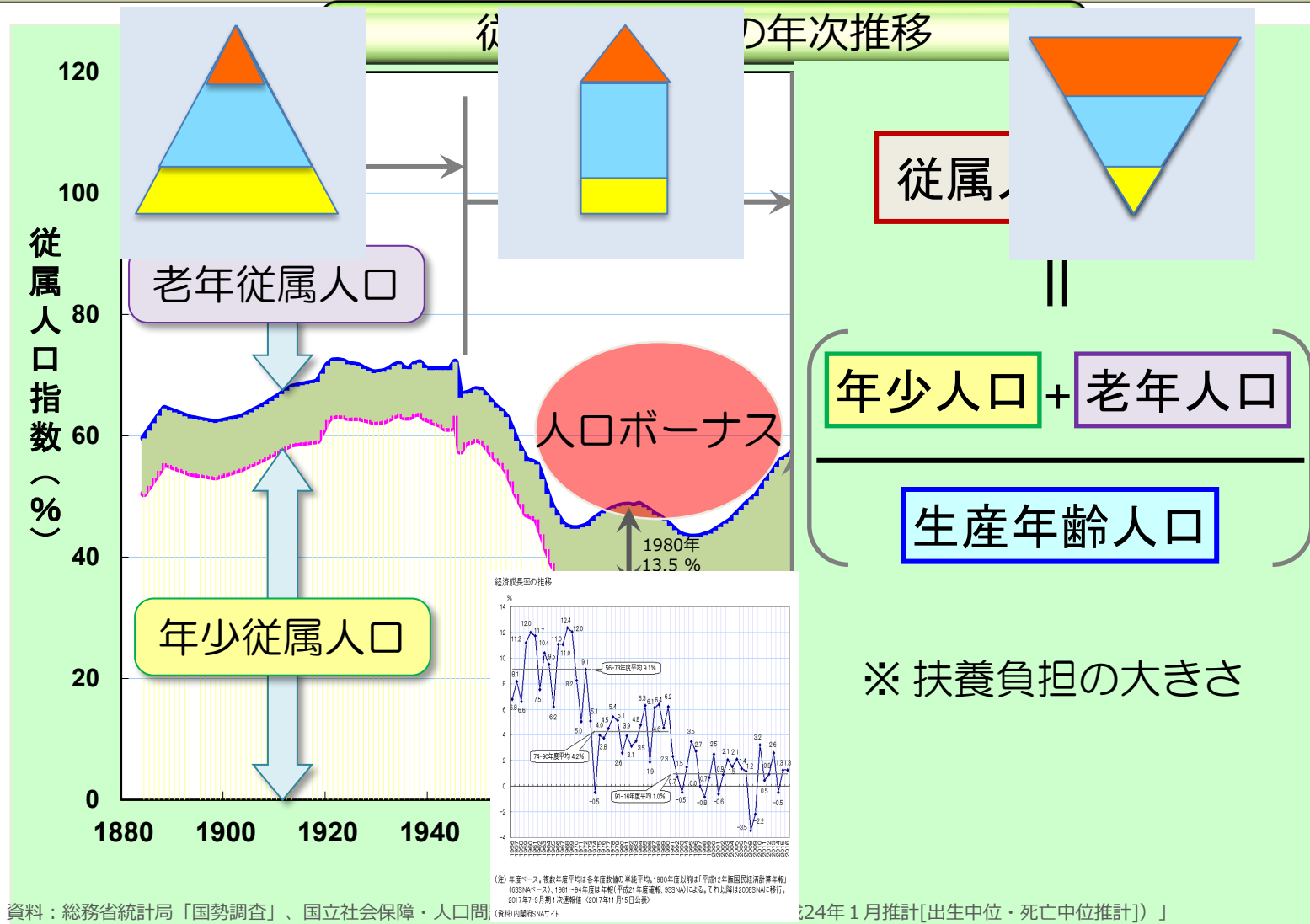


Sources: United Nations (2015), *World Population Prospects: The 2014 Revision*. Statistics Bureau, *Census*, National Institute of Population and Social Security Research(2012), *Population Projection for Japan:2011-2060*.

5. 人口ボーナスと経済成長

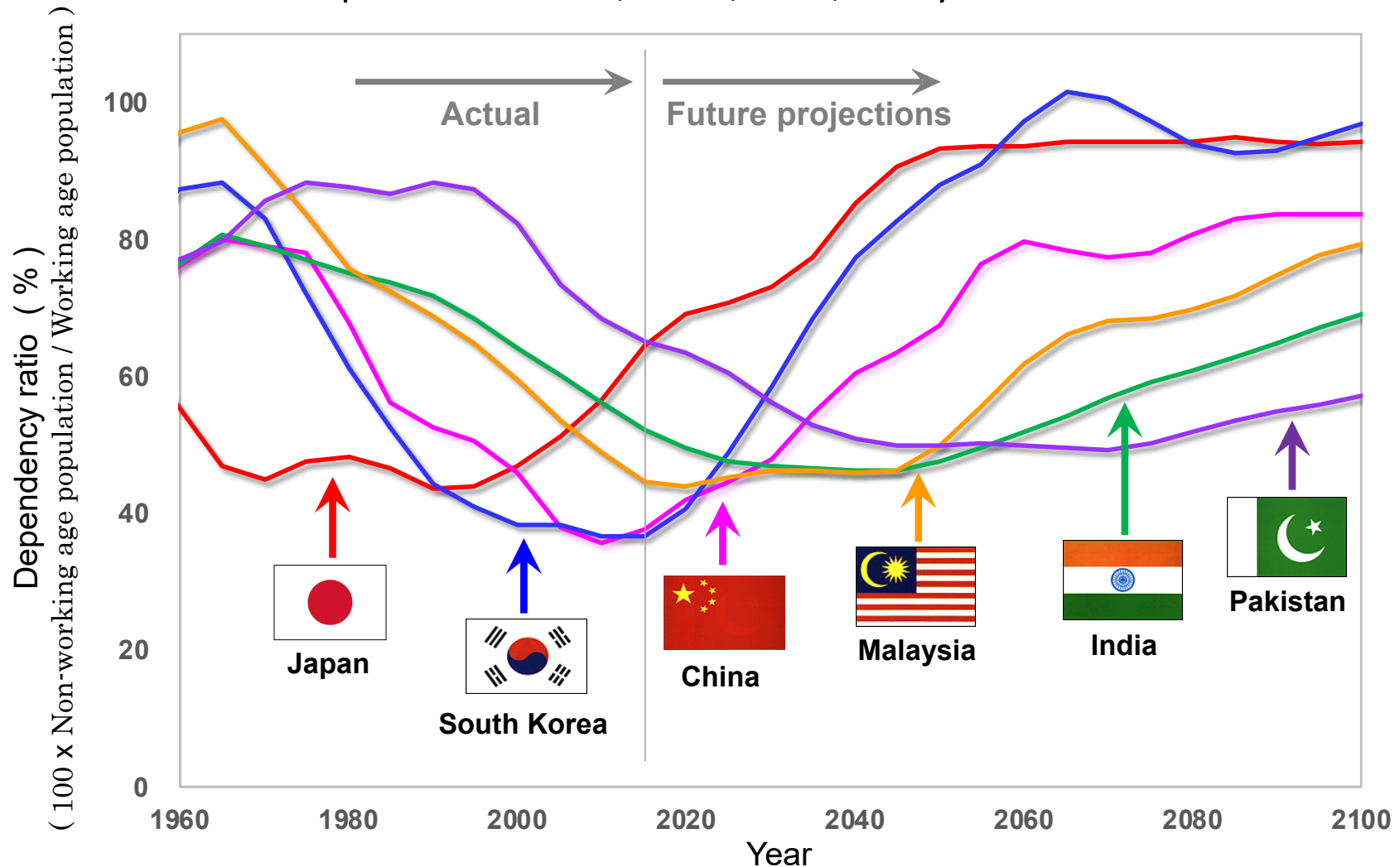
—— 経済成長によって課題を解決できるか？

人口ボーナスと人口オーナス(産業化～21世紀)



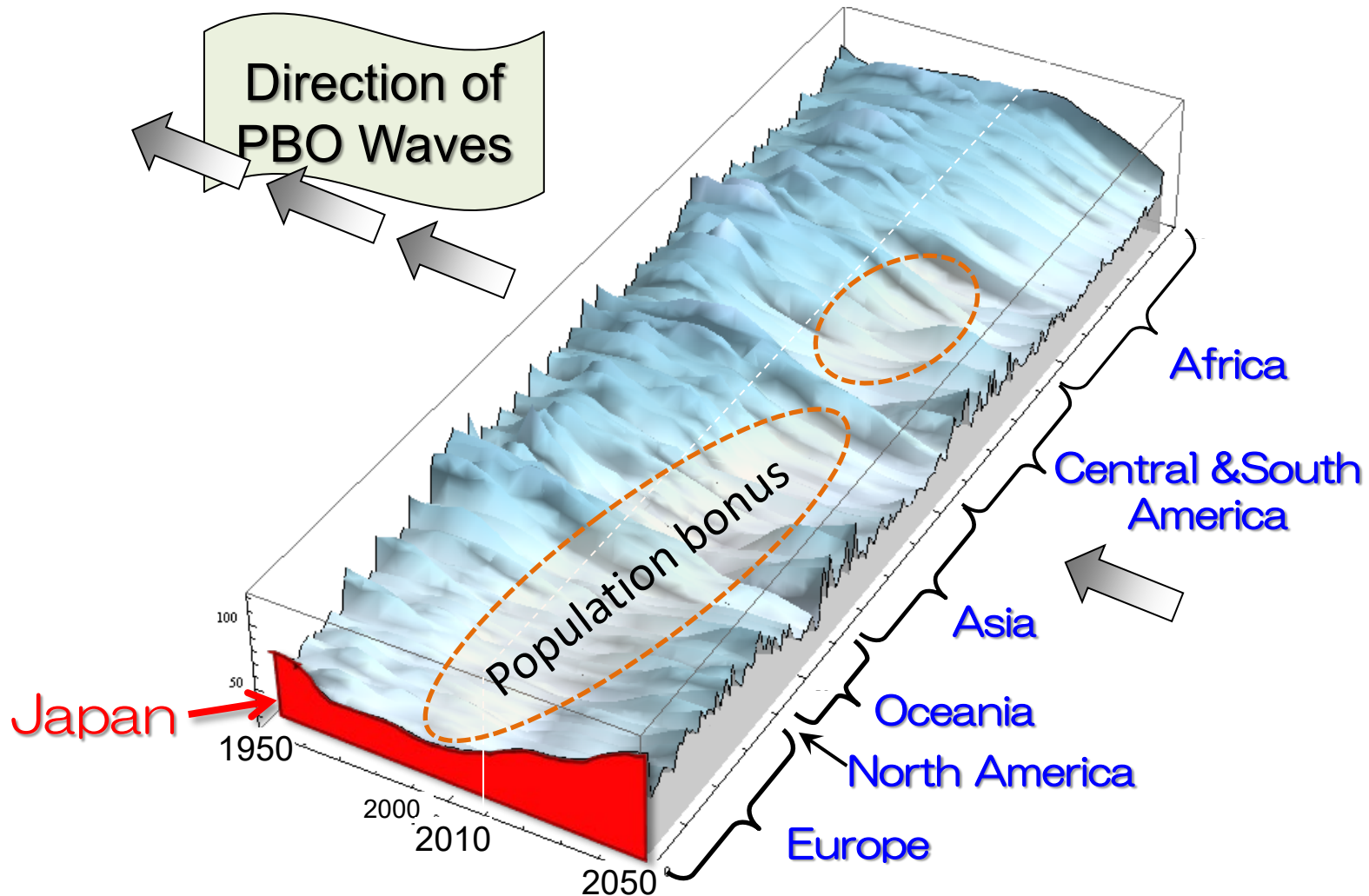
Comparison of population bonus and onus

— Japan vs. S. Korea, China, India, Malaysia and Pakistan



Source: United Nations (2011) *World Population Prospects: The 2017 Revision*. NIPSSR (2017), *Population Projection for Japan:2015-2065*.

Waves of Population Bonus and Onus in the World



Source: United Nations (2009) *World Population Prospects: The 2008 Revision*. NIPSSR (2006), *Population Projection for Japan: 2006-2055*

7. 高齢化と労働力の減少

—— どうしたら持続可能な社会にできるか？

—— 潜在的労働力の活用——女性と高齢者

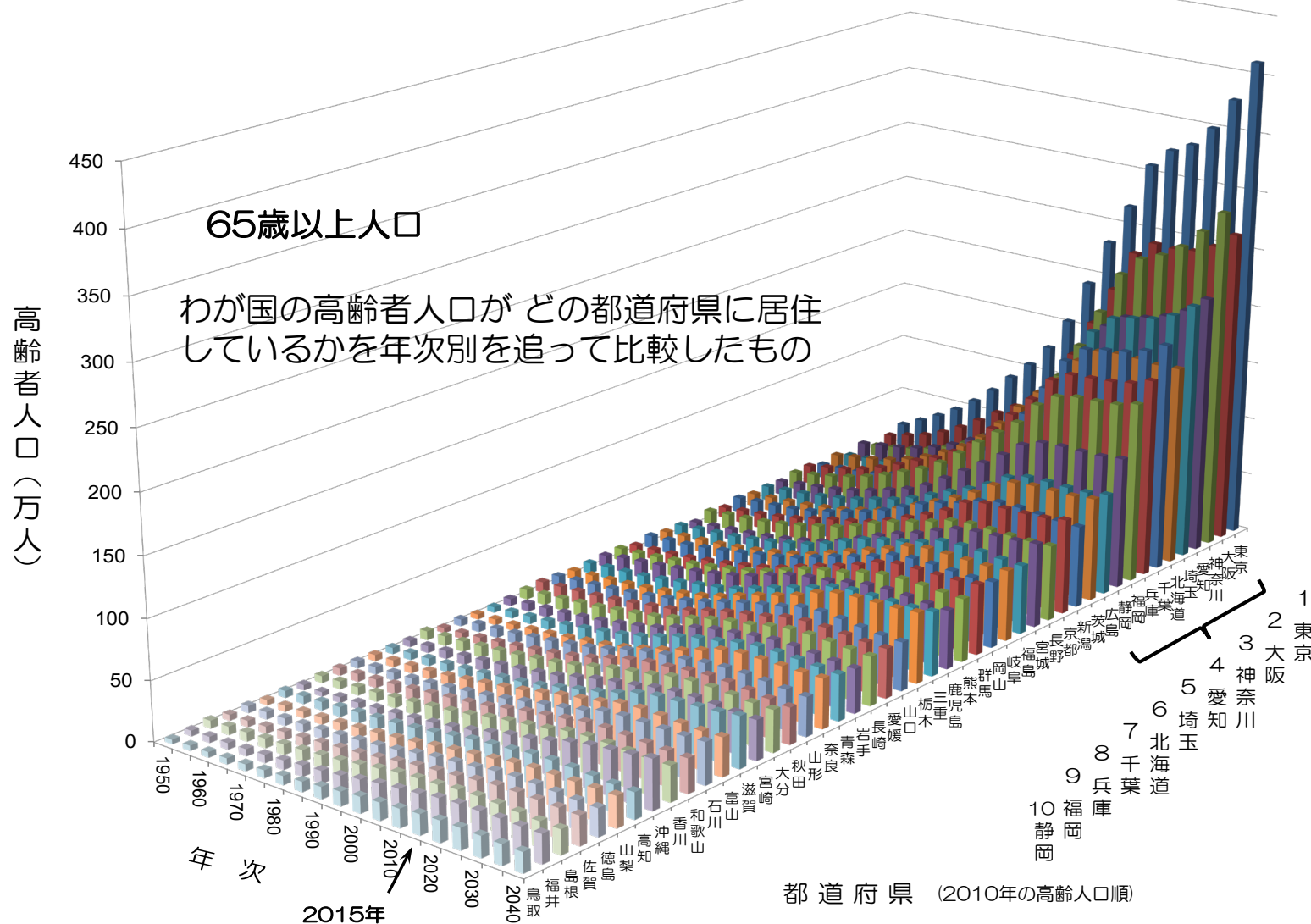
—— 社会の効率化

→ ITの活用 = 機械ができることは人間はしない！

→ マイナンバー制度の活用

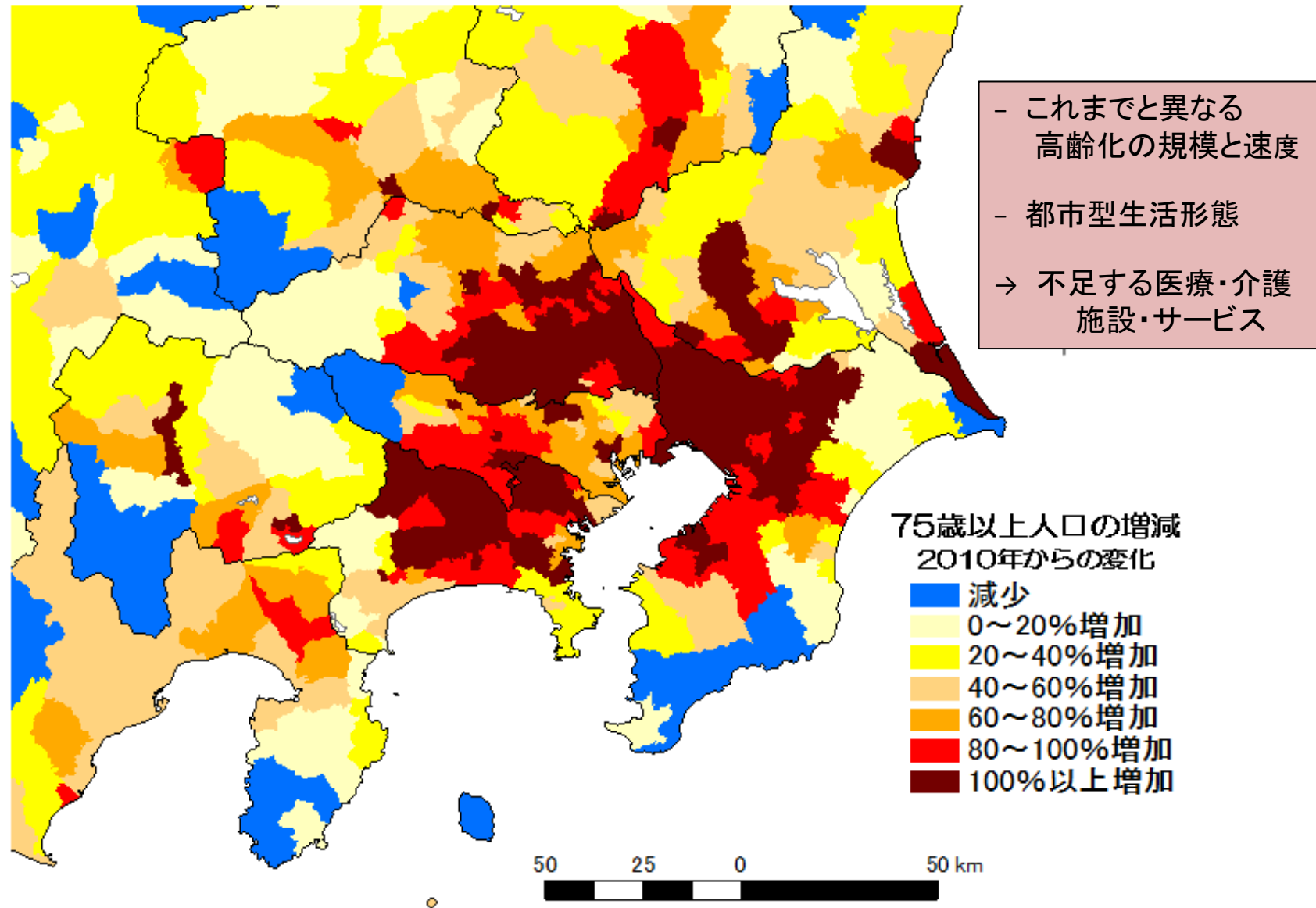
—— 課題としてのシルバー・デモクラシー

高齢者の都道府県分布の変化：1950年→2040年

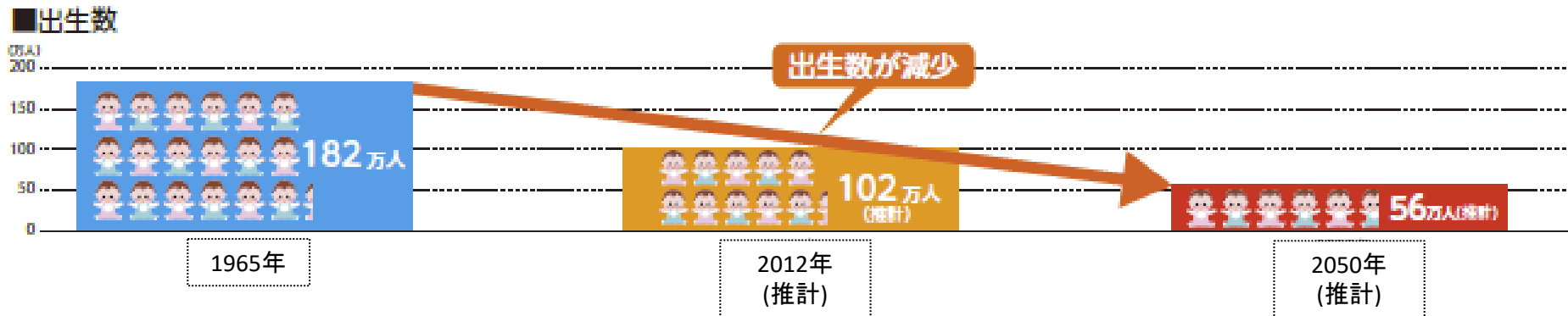


資料：総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

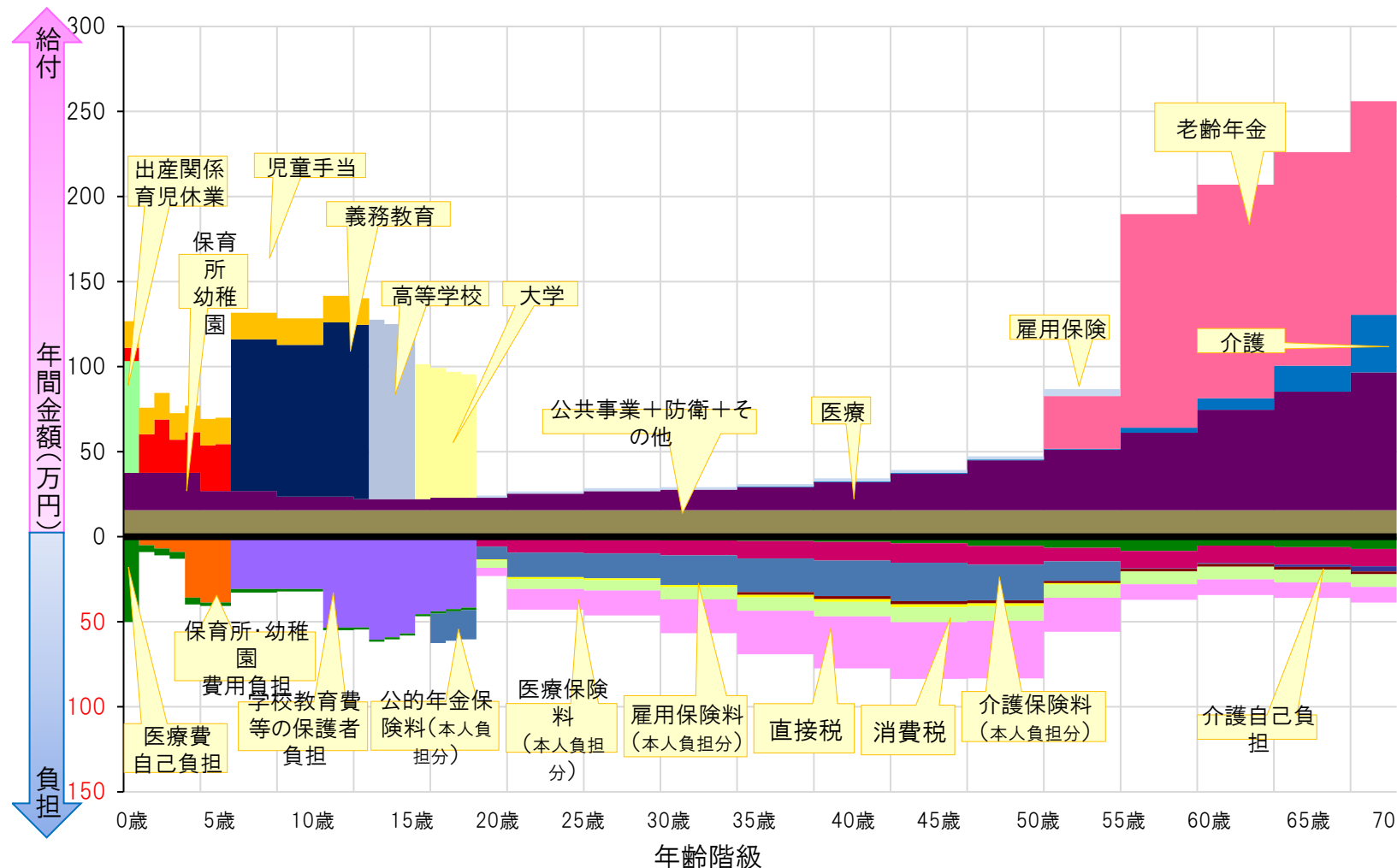
首都圏の高齢化（2040年75歳以上人口の増減率）



現役世代に掛かる負担の増大

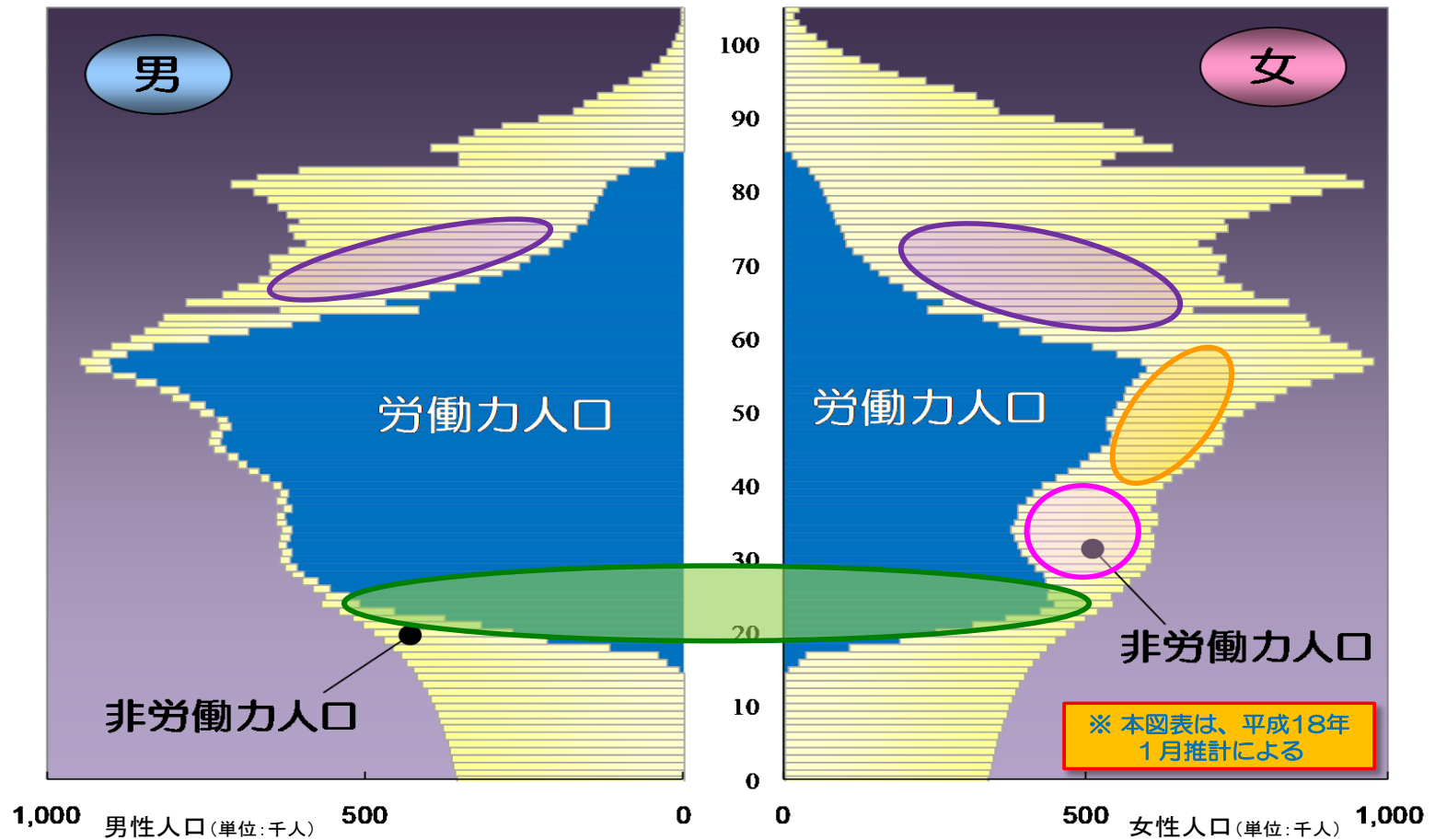


ライフサイクルでみた社会保険及び保育・教育等サービスの給付と負担のイメージ

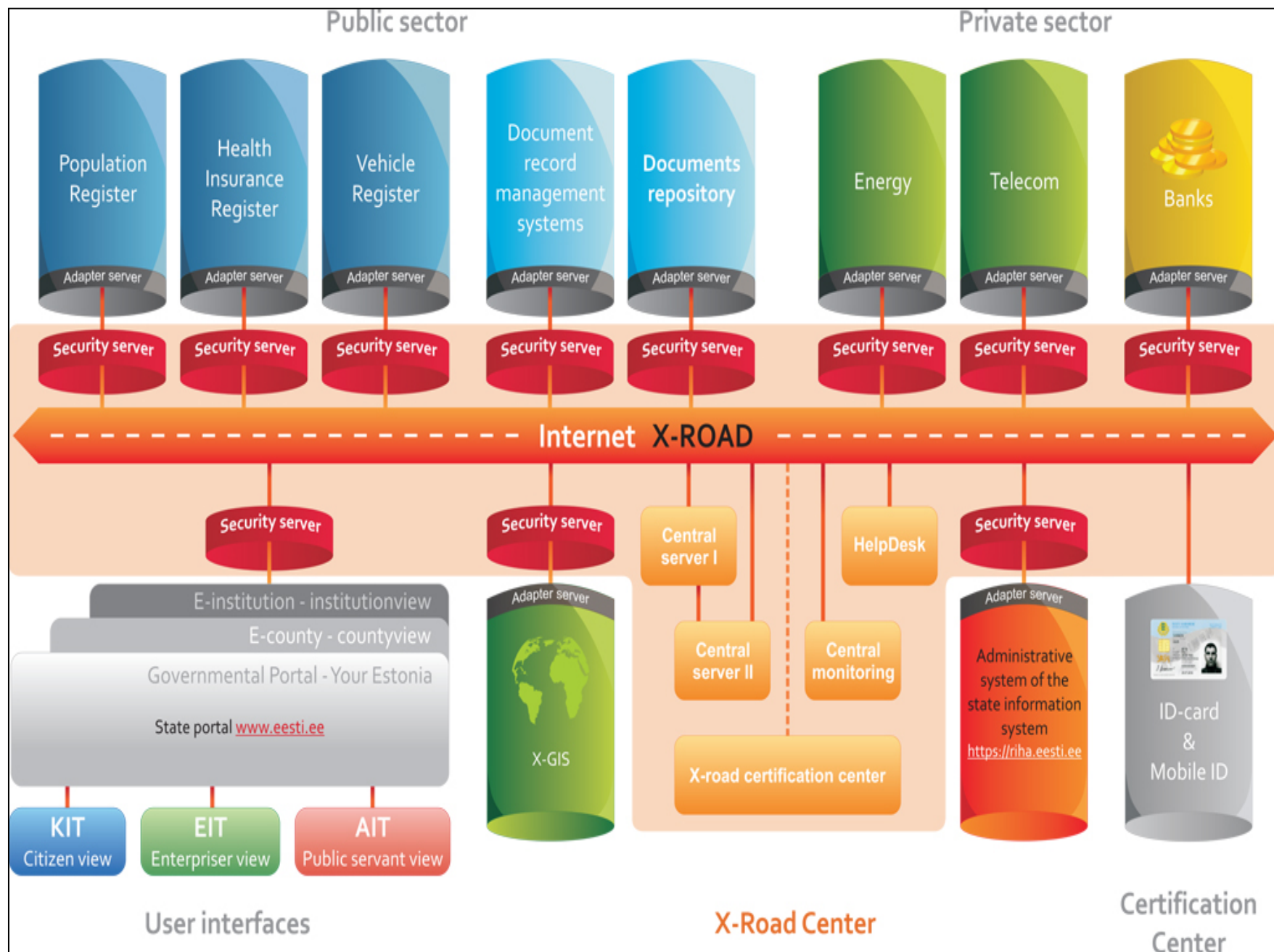


- (注) 1. 平成21年度(データがない場合は可能な限り直近)の実績をベースに1人当たりの額を計算している。具体的な計算方法は別紙のとおり。
 ただし、「公共事業+防衛+その他」については、平成22年度予算ベース。
2. 直接税及び消費税は、国税及び地方税の合計である。
3. 負担という観点からは、将来世代の負担として、公債金(平成22年度予算ベースで約44兆円、国民1人当たり約35万円)がある点についても留意が必要である。

労働力人口と労働力供給逼迫への対処



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成 18 年 12 月[推計出生中位・死亡中位推計]）」、
2005 年国勢調査（労働力率）



終
The End

ご静聴ありがとうございました

Thank you!